

全盲の国学者

はなわ ほきいち
伝一己保塙

共鳴する魂



Sympathetic Souls — Biography of Hanawa Hakichi

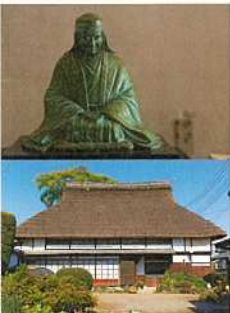
世のため
後のため
今の私に何が
できるのか

塙保己一

(一七四六年〜一八二二年)

江戸時代後期に活躍した全盲の国学者。現在の埼玉県本庄市見玉町に生まれ、7歳の時に病氣のため失明。15歳で江戸に出て当道座(盲人組織)に入り、雨富須賀一(検校に弟子入り)その後学問の道に進む。貴重な古書の散逸を危惧し、それらを集集・編纂して出版することを34歳の時に決意。多くの困難の中、41年の歳月をかけ大文献集「群書類従」約670冊の出版を成し遂げる。

現在、日本の歴史・国学・文学等を研究する上で欠くことのできない重要な資料となっており、世界共通の文化遺産と称されています。



監督 大里正人
語り 土屋炎伽
エグゼクティブプロデューサー 吉野浩
統括プロデューサー 江森浩子

構成 城崎介
音楽 弓削田健介 小林一尚
撮影 宮崎雅雄 渡辺謙一(ケンブリッジロケ) 高橋圭司
照明 田頭祐介
宣伝プロデューサー 西尾優

特別協力 公益社団法人 温故学会
Special Thanks 総検校 塙保己一
制作協力 株式会社オーディンプロダクション
製作 株式会社ユニバーサルビジョン

©2023「共鳴する魂 塙保己一伝」
ユニバーサルビジョン

<https://universalvision.biz/>



世のため後のため 今の私に何ができるのか

—— ヘレン・ケラーが尊敬した勇気ある
開拓者は全盲の国学者でした

塙保己一は、ヘレン・ケラーが尊敬し目標としたという、江戸時代に活躍した全盲の国学者です。点字もない時代に、日本古来の貴重な古典文学や雑多な史料を全国から膨大に集め、後世に伝えていこうと約670冊にもなる国史国文の大文献集「群書類従」を編纂・出版しました。全盲でこれほどの大事業をした人は世界中探しても見あたりません。保己一がいなければ、日本の歴史を記したこれらの重要な文献は現代まで残っていなかったかもしれません。この偉業をさらに際立たせたのは、7歳で視力を失ったにもかかわらず学問への情熱、断固たる決意、そして並外れた記憶力が保己一を成功に導いたことです。この驚くべきヒストリーは、ヘレン・ケラーをはじめとする多くの人々の心に光を灯したのです。



1921年、後に天皇となる昭和天皇(当時は皇太子)は英国への旅の途中、ケンブリッジ大学を訪問し「群書類従」を日本の宝として寄贈しました。一式約670冊は、オリジナルの版木を使用して摺り立てられたもので、現在もケンブリッジ大学図書館に所蔵されています。

この映画は、保己一の生涯、功績を軸に、逸話や名言などを交えて描いています。人間関係や仕事関係に悩む姿は、現代を生きる私たちと何も変わらない葛藤を抱えていて、愛おしく応援したくなります。未来をつかみ取っていくエネルギーにも驚かされることでしょう。映画を通して、少しでも先人たちの実像に触れ、その息づかいの中から「生きることの素晴らしさ」「人間には無限の可能性がある」ということを感じていただけるよう願っています。そして、保己一の足跡を「日本人の心」の一部として、国境を越えて多くの人たちと共有し、後世に伝え遺していきたいと思います。世のため後のために。

共鳴する魂

全盲の国学者

はなわ ほきいち
塙保己一伝